

# JIPA 知的財産マネジメント委員会

## ミッション

知財経営を推進するために、  
**現実の企業活動を踏まえた**知財マネジメントに関する実践的な調査・研究活動を行い、  
**産業界のオピニオンリーダー**として、  
**国内外に情報・提言を発信**する。

## 研究テーマ

対象：知財経営の推進に関連するあらゆるテーマ

視点：企業の知財戦略部門としての視点

体系：知財に関する①経営、②創造、③保護、④活用・評価、  
⑤知財活動を支える施策、⑥知的財産政策への提言

## 知財マネジメント委員会の研究テーマ - 過去・現在・将来 -

### 知財政策

・現状の知財制度の課題の検討とあるべき姿の提言（'12）

### 知財経営

・基礎研究・基盤研究の知財マネジメント（'12）  
・ビジネスモデル構築における知財部門の関わり方（'12）

・オープンイノベーションにおける技術経営・知的財産経営のあり方（'09）

・これからの知的財産組織のあり方（'09）  
・知的財産マネジメントの現状分析と今後のあるべき姿についての研究（'11）

・知的財産経営に関する実態調査（'09）

・競争力強化のための知的財産マネジメントに関する研究（'11）

・社会形態の変化に対応し、知財部門の採るべき施策についての研究（'10）

・知財部門に期待される機能と業務範囲に関する研究（'11）

### 活用・評価

・発明(1件or群)の評価方法と評価データの蓄積に関する研究（'09）

### 保護

・企業の知財部門が真に果たすべき役割の研究（'12）

### 支える施策

・知財人材の育成～専門的能力+知財マネジメント力の育成～（'12）

・多様な知財人材の活用(ダイバーシティ)に関する研究（'12）

### 創造

・新興国における知財マネジメント

・知財マネジメントとコストパフォーマンスに関する研究（'09）

・”知財経験の無い”新任知財部門長のための知財マネジメント（'10）

・知財部門からの情報発信のあり方（'12）

・海外特許事務所の管理・活用施策（'09）

・権利維持の判断基準、維持年金の経済性効果に関する研究（'10）

・知財関連費用の予測と予算策定の方法に関する研究（'11）

・知財マネジメントにおけるノウハウ管理の課題と対策（'10）

・グローバル化、オープンイノベーション時代における社内知財教育に関する研究（'11）

・知財情報を活用した知的資産マネジメントの研究（'09）

・知財リスクマネジメントのあるべき姿（'10）

・事業戦略及び研究戦略と連携した外国特許出願戦略の研究（'10）

・グローバル対応の知財部門の在り方（'11）

・今後の産官学連携における知財マネジメントの在り方に関する研究（'11）

・海外拠点での知財マネジメントの在り方に関する研究（'11）

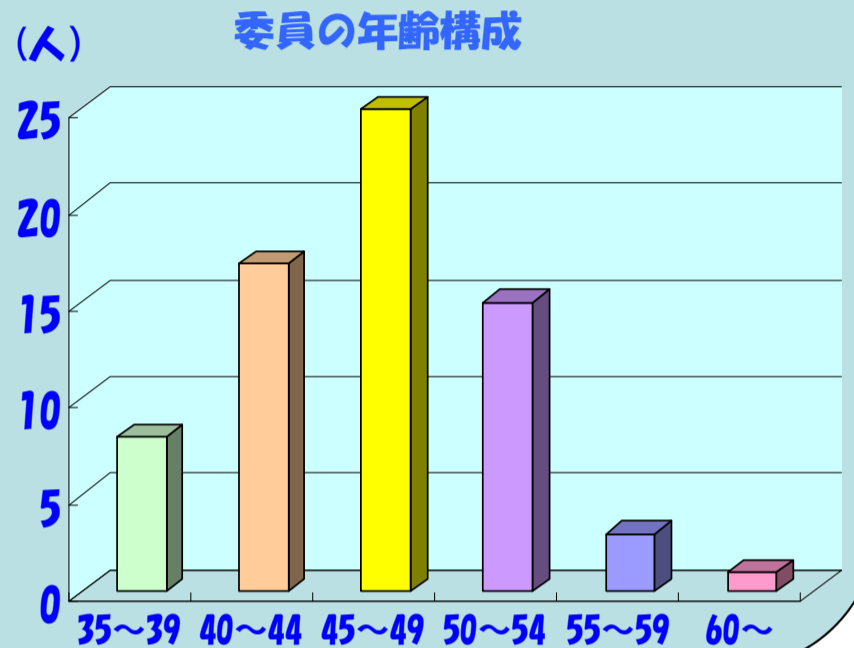
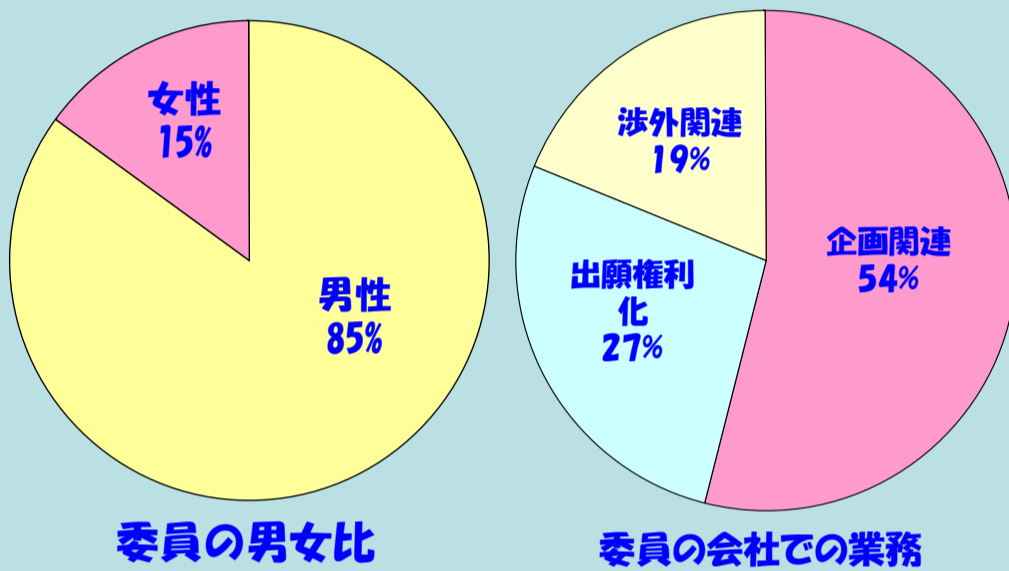
## 2012年度活動方針

2002年に知財戦略大綱が制定されてから、10年が経過した。  
 その間に、**知財を取り巻く環境は大きく変化**した。  
 (経済活動のグローバル化、新興国の台頭と日本の技術競争力の低下、  
 プロパテント政策からプロイノベーション政策への変化等)  
 我々は、**従来の常識に捉われず、企業の競争優位性を導くために、  
 知財マネジメントのあるべき姿について調査研究し、提言を発信**する。

## 2012年度知財マネジメント委員会 委員像

委員数：74名 (内女性11名)

平均年齢47歳 (最年少36歳)



## 年間活動スケジュール

- ・小委員会 … 月1回、13:30~17:30、委員各社の会議室にて開催
- ・継続審議 … 小委員会の開催後17:30~19:30 → 活発な情報・意見交換、有意義
- ・ヒヤリング … テーマに応じて随時実施。大学、企業、特許庁、等 → 視野を広げる機会

小委員会活動  
4~10月

全体委員会  
(中間報告)  
10月

小委員会活動  
10~3月

全体委員会  
(成果報告)  
3月@品川

知的財産マネジメント第1・第2委員会 2012年10月5日 花巻にて



活発に討議



議論の後は  
情報交換  
懇親会

# 2012年度研究テーマの紹介

## ● 知財人材の育成 ～専門的能力+知財マネジメント力の育成～

各社の**知財マネジメント力育成**の実施状況と課題を明らかにし、**真に経営に貢献する知財人材育成の方法**を提言する

## ● 基礎研究・基盤研究の知財マネジメント

「基礎研究・基盤研究」の知財マネジメントの現状と課題を調査し、「**基礎研究・基盤研究**」の**知財マネジメントの指標とあるべき姿**を提言する

## ● 現状の知財制度の課題の検討とあるべき姿の提言

日本の競争力優位性が年々低下している現在、現行知的財産制度の経済社会での役割と課題について分析し、**今後の知的財産制度の向かうべき方向性**について提言をする

## ● 企業の知財部門が真に果たすべき役割の研究 ～アウトソーシング可能な役割は何か～

知財業務の**アウトソーシング**を切り口に知財部門の果たすべき役割を検討し、**経営に貢献する知財業務のあり方(資源のバランス等を含めた実際の業務遂行、業務体制構築等)**を提言する

## ● ビジネスモデル構築における知財部門の関わり方

事例研究を通じて、技術戦略、知財戦略を組み込んだ**収益力の高いビジネスモデルや事業戦略を作り出すための知財マネジメント**を提言する

## ● 知財部門からの情報発信のあり方

情報を発信する側のシーズと受け取る側のニーズのマッチングが取れた知財情報、発信手段、コミュニケーションの活用等について調査研究し、**知財情報発信のあるべき姿**を提言する

## ● 多様な知財人材の活用(ダイバーシティ)に関する研究

**知財のダイバーシティ化(外国籍人材、女性、異部門経験人材、シニア人材等)**の実態を分析し、今後の知財活動における人材活用のあるべき姿を提言する

## 来年度のテーマ案 「新興国における知財マネジメント」、「知財制度のあるべき姿」、等など検討中

マネジメント委員会  
委員心得

一、積極的に

情報を共有し、  
自社の知財活動  
にも参考・ヒント  
となる意見交換  
を行う。

一、意気に感じ、  
創意工夫して  
料に活動する。

一、各小委員会の  
運営を自己の  
マネジメントスタ  
イル確立の場と  
考え行動すると  
同時に人脈形成  
に役立てること。

一、研究成果を  
いち早く自社に  
持ち帰り、自社  
の知財活動に  
つなげる努力を  
すること。

## マネジメント委員会に参加して良かったこと、参考になったことは？

圧倒的多数意見は、  
**人脈形成と他社・異業種との情報交換。**  
他にもこんな意見が…

マネジメントについて、他の業界のマネージャーや有識者(大学教授)と意見交換することができ、自分の業務に生かすことができた。



自社の抱える問題の解決糸口を見出すのに役立った。先進的な取り組みをしている企業をヒヤリングできる等この委員会活動を通して得られる情報の価値は大きい。



人脈を築くことができ、そこから様々な情報を得られる。有識者の方にインタビューができる(しやすい)



論説の検討が、知財マネジメントのあり方や、どうすれば知財の事業貢献を高められるかということを考える動機となっている。また、各社の状況の違いは、自社事例だけでは得られない発想のヒントとなっている。



委員会・継続審議を通じて、マネジメント上の課題について、参画各企業の本音を聞くことができ、自社課題に立ち向かうためのヒントを得ることができます！



知財業務をやっていく上で出てくる「ちょっとした疑問」が、委員会メンバーに相談することで解決できることもあります！また、異なる業界の方も多い点で、視野が広がります。

